

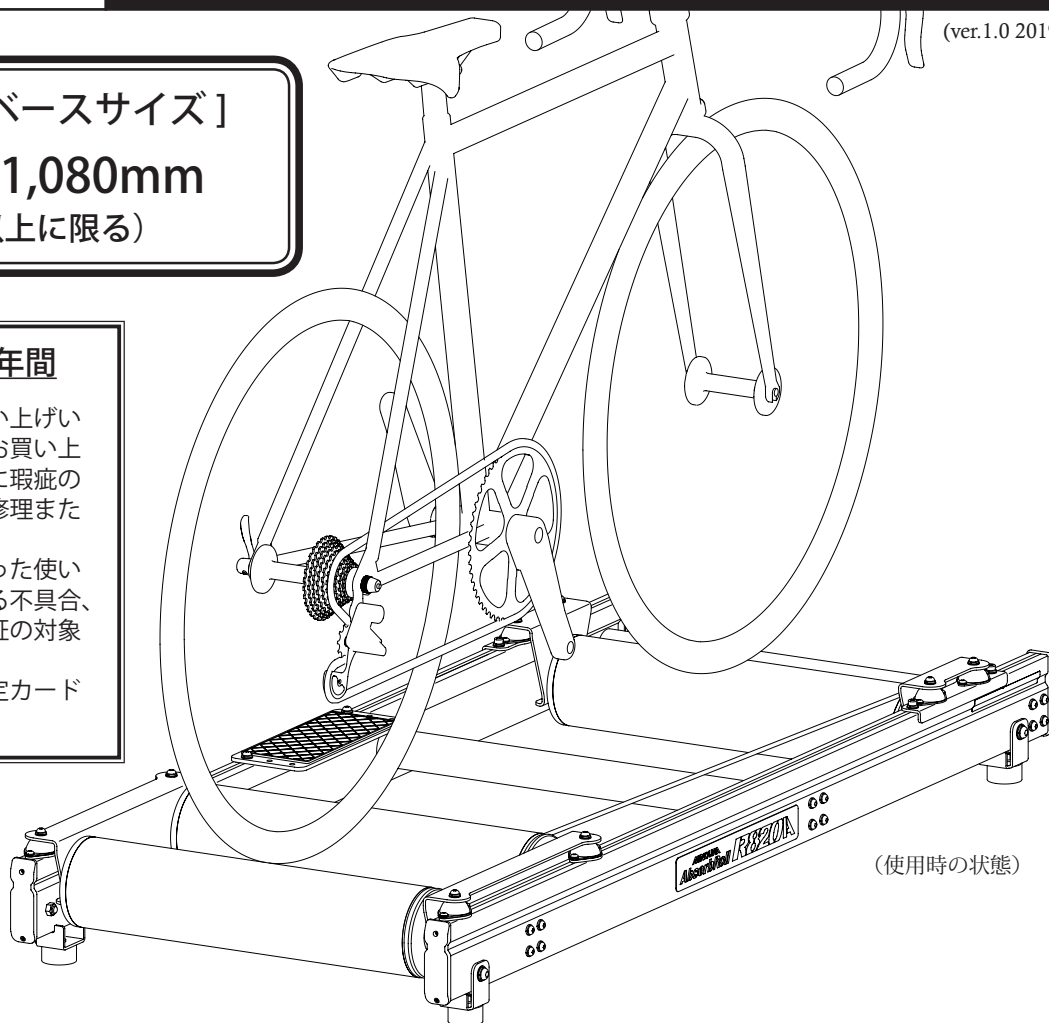
[適合ホイールベースサイズ]

950mm ~ 1,080mm

(26インチ以上に限る)

製品保証期間：1年間

本商品を新品で最初にお買い上げいただいたお客さまに限り、お買い上げ日より1年間の、製造側に瑕疵のある不具合に対するの無償修理または交換の保証をいたします。運送中に生じた不具合、誤った使い方や保管方法などに起因する不具合、また自然摩耗については保証の対象外となります。詳しくは添付の製品保証規定カードをご一読ください。



(使用時の状態)

主な特徴

- 3本ローラーの最大の弱点である「床への振動伝達」を徹底的になくした新機構フレーム。ローラーは3本とも特殊ゴムでフローティングされ、さらにフットアジャスタのゴムブッシュによりダブルで振動伝達をカット。階下や隣室への床を伝わる振動に起因する騒音発生を徹底的に抑えました。
- 肉厚を増し高剛性になった専用大径ローラー、それぞれがフライホイールともなる削り出しのローラーキャップ、耐荷重性能を大幅に上げた大径シャフトの採用により、静粛性の高いどっしりとした重厚感あふれる乗り味を味わえます。
- 前ローラーの位置を変えて行なうホイールベース調整は無段階式。ビギナーから上級者まで、お使いの自転車に完璧に合わせた妥協のないセッティングが可能です。

注意すべきこと

3本ローラーは、なんの支えもないローラー上で自らバランスを取りながら乗らなければならないトレーニングマシンです。R820Aは構造上、普及レベルのモデルには用意してある前輪の脱落防止ガードや前フォークを支える補助器具などは装着できません。そのためこのR820Aは、安定して3本ローラーに乗れるだけの技術を持ったレベルの方向けのモデルであることを、あらかじめご承知おきください。

お問い合わせ先

修理や故障のご依頼の場合は、添付の製品保証規定カードをよくお読みになった上で、まず最初に、お買い求めになったショップにご相談ください。

<販売元>

株式会社 フカヤ

〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町1-37-3F

Phone: (052) 228-8910 / Fax: (052) 228-8917

www.fukaya-nagoya.co.jp

<製造元>

株式会社 箕浦

〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮134-1

Phone: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505

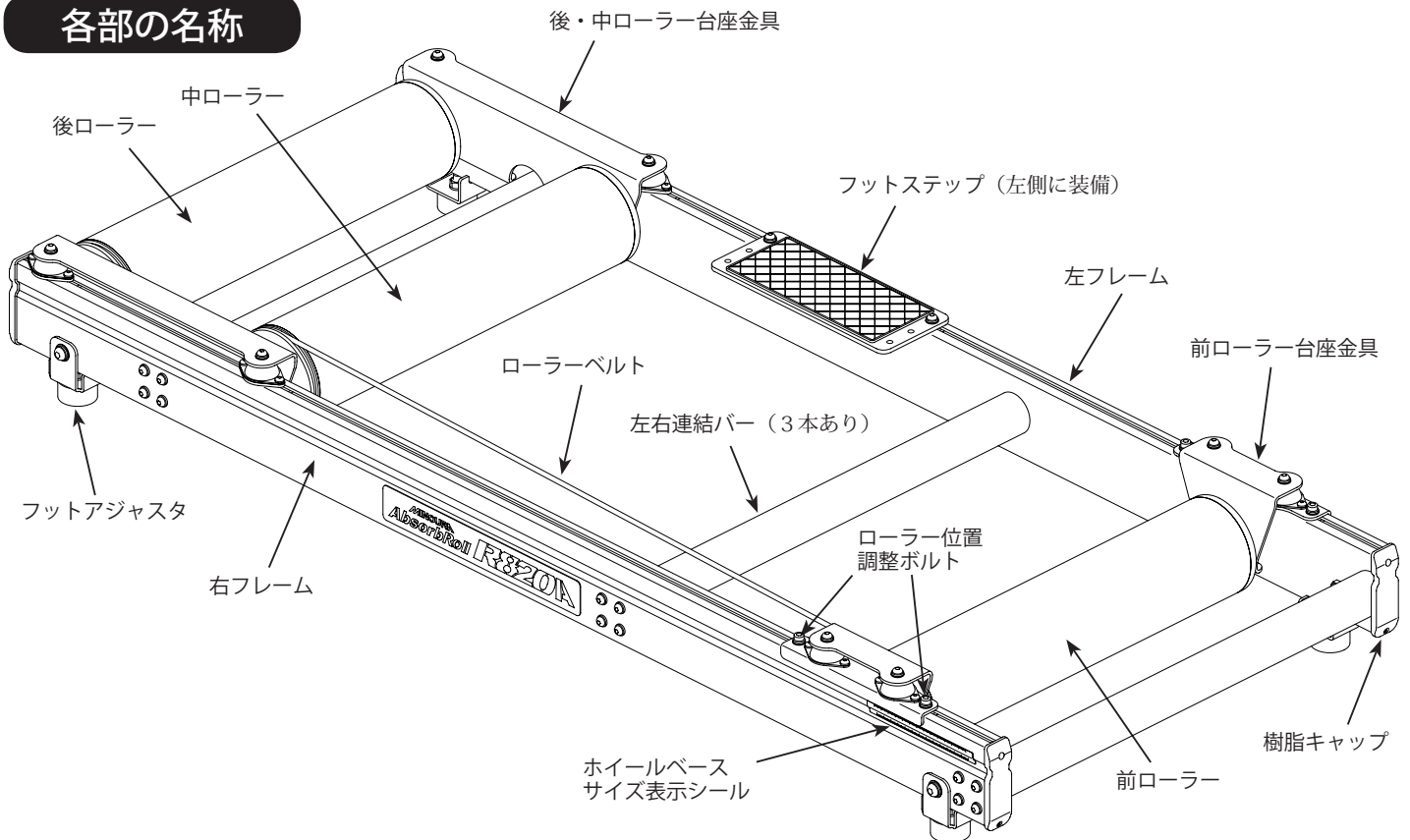
minoura@minoura.jp (営業)

infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス)

www.minoura.jp

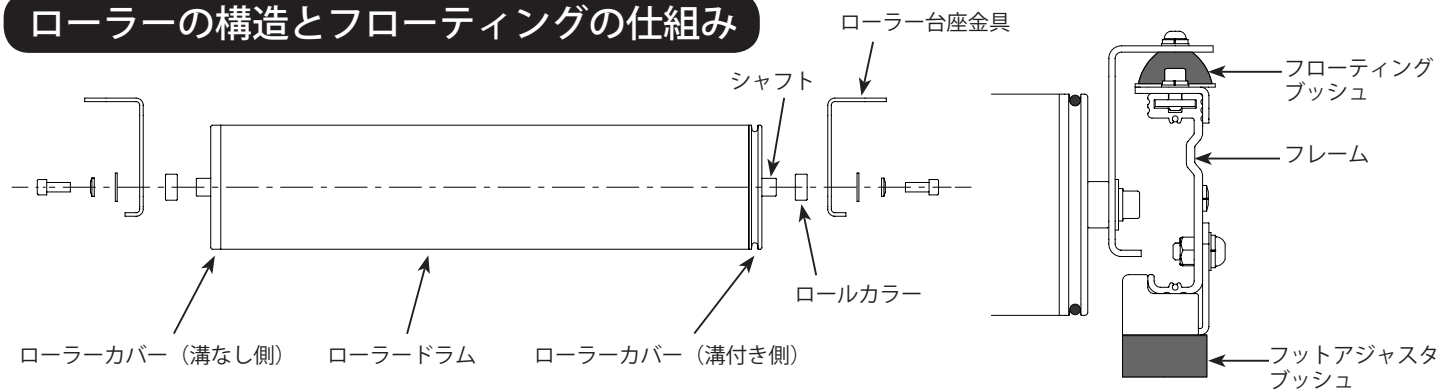
- 通常の 26 インチ以上の 2 輪自転車、ホイールベースが 950 ～ 1,080mm のもの専用です。小径車やリカレント、適用範囲外のホイールベースサイズの自転車では使用しないでください。
- 3 本ローラーは、なんの支えもないローラー上で自分自身でバランスを取りながら乗らなければならない器具です。もし初心者が使用する場合は必ず 3 本ローラーに関する知識を十分に持った人を補助者として付けてください。またいつでも体を支えられるよう、はじめは壁や手すりの近くで使用することを薦めます。落車すると転倒する恐れがあります。まわりに壊れやすいものや危険になるものを置かないでください。
- R820A は必ず水平で平坦な状態で使用してください。やむを得ず緩斜面で使用しなければならない場合は、フレーム下側 4 ヶ所のアジャスタを正しく調整して、できるだけローラーを水平にしてお使いください。
- 完全組み立て状態で梱包してありますので箱から出してそのままご使用できますが、前ローラーの位置調整を行なうには 5mm 六角レンチの工具が必要です。添付していませんのでご自身でご用意ください。
- 前ローラーは可動式ですが、3 本のローラーが必ず平行になっていることを確認してからお使いください。もしローラーが斜めになっていると、破損・蛇行・異音などのトラブルの原因となります。
- 手放し運転・もがき・ダンシングなどは推奨していません。もし行なう場合はご自身のリスクになります。またブレーキは絶対にかけないでください。急激にローラー上から飛び出すことになり危険です。安全に停まるには、ただペダリングを止め、自然にスピードが落ちるのを待ってください。
- 高速で回転している車輪や回転部に触れると怪我をします。トレーニング中は小さな子供やペットなどを近づけないでください。またカーペットなどがローラーに触れたり絡みつかないように配慮してください。
- 室内トレーニングでは体に風が当たらないために通常より発汗が多くなり体温が上昇してくることにより、予期せぬ身体トラブルを招いてしまう恐れがあります。トレーニングは自己流では行わず、必ず専門知識を持ったコーチや医師の助言を得ながら実施してください。扇風機の使用、水分補給をお忘れなく。
- トレーニング中にかく汗やゴム脚キャップによる床やカーペットへの汚れ付着や傷付きを防止するため、できるだけトレーナーの下には専用の防汚防振マットなどを敷いてお使いください。
- R820A を使用中にもし異常な音やにおいなどを感じた場合は、すぐに使用を中止し、お買い求めになった販売店にご相談ください。また弊社への事前の相談なく勝手に分解や改造をしようとししないでください。その時点で弊社による製品保証が切れてしまいます。修理は弊社にお任せください。
- 弊社は R820A を購入された日から起算して 1 年間の、メーカー側に瑕疵のあるトラブルに関しての品質保証制度を、新品で購入した最初のユーザのみに限って提供しています。自然摩耗等や弊社の事前承諾を得ないままの分解や改造を施したものなどは対象外です。詳しくは添付の製品保証規定カードや弊社ウェブサイトをご参照ください。
- ローラーベルトには輪にしてから繋いでいる箇所があります。まれに多少のずれが残ったまま接合されているものもありますが、使用と品質にはなんら問題ありません。このウレタンローラーベルトは弊社のすべての 3 本ローラーで共通して使われています。

各部の名称



左フレームに装着されているステップを右フレームに付け替えるのには、かなりの部品の分解と変更が必要になってきますので、現実的ではありません。どうしても、という方はご相談ください。

ローラーの構造とフローティングの仕組み



フットアジャスタの調整

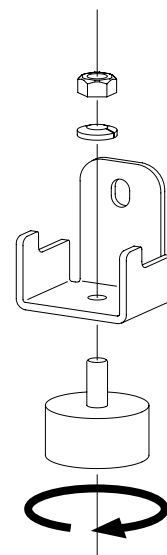
必要な工具： 13mm スパナ

フットアジャスタはフレーム底部の前後に2ヶ所ずつ、合計4ヶ所に取り付けられています。

すべてのアジャスタが同時に床面に接地した状態でローラーが3本とも水平になるように、それぞれを微調整してからお使いください。

<長さ調節のしかた>

1. ナットを13mm スパナで緩める。
2. フットアジャスタを左回りに回して緩め、ボルトを伸ばして長さを調節する。
3. アジャスタはそのままに、ナットだけを13mm スパナで締め込んで固定する。




前ローラーの位置調整

必要な工具： M5 六角レンチ

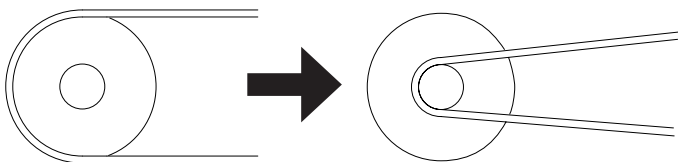
お使いの自転車とスキルレベルに合わせて、前ローラーの取り付け位置を前後にスライドさせて調整します。

無段階に動かしますので、ミリ単位で好みの位置に合わせることができます。

前輪車軸からの垂線と前ローラー中心軸との寸法差 (A 寸法) は、ビギナーは 10 ~ 15mm 程度に設定し、上達するにつれて最終的にゼロに合わせていきます。

 前ローラーは必ず前輪車軸の真下もしくはやや前になるようにします。ローラーの方が後ろにあると、自転車が前方に脱落してしまいます。


1 まずローラーベルトのテンションを抜くため、前ローラーにかかっているベルトを溝から外しておきます。これをしないと、前ローラー取付台座の固定ボルトを緩めた途端にベルトの力で引かれて動いてしまいます。



2 前ローラー台座金具の前後にある M6 キャップボルトを 5mm 六角レンチで緩めます。これで前ローラーは前後に動かすことができるようになります。

3 台座金具の側面にあるインジケータが指しているホイールベースサイズ表示シールの数字を確認します。これが自転車のホイールベースサイズを示します。通常はこの数値を「ホイールベース + 15mm」程度に合わせますが、上級者はホイールベースそのままでの数値でも構いません。左右フレームとも同じ数値に合わせます。

4 台座金具のボルトを再びしっかりと締め込んで固定し、最後にローラーベルトを溝に掛けます。

 ベルトの力は強いので、指をローラーとベルトとの間に挟んでしまわないように注意してください。

